

# 令和2年度事業計画

新潟県から依頼を受け、発掘調査を実施し埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に親しむ機会の提供・普及啓発を図り、文化振興への寄与を目的に以下の事業を推進する。

## 1 事業及び推進体制

### (1) 事業

- ア 埋蔵文化財の調査及び研究
- イ 埋蔵文化財保護思想の普及
- ウ 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修
- エ 出土遺物の保存処理
- オ 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行

### (2) 組織

#### ア 評議員会(4)

6月 定時評議員会 事業報告、決算計算書類の承認

#### イ 理事会

理事長(1)		専務理事(1)		理事(2)
				監事(2)

5月 第1回定例理事会 決算の承認等

3月 第2回定例理事会 事業計画、収支予算の承認

#### ウ 事務局（職員数32 内訳：正職員1、県派遣職員12、嘱託員19）

事務局長		総務課長		班長(1)、嘱託員(3)
------	--	------	--	--------------

#### 【本発掘調査・整理】

調査課長		課長代理(2)		専門調査員(1)、班長(2)、 文化財調査員(1)、嘱託員(7)
------	--	---------	--	-------------------------------------

#### 【普及・資料・保存】

普及・資料課長		課長代理(1)		班長(1)、嘱託員(9)
---------	--	---------	--	--------------

#### エ 事務所

本部 新潟市秋葉区金津93番地1

新潟県埋蔵文化財センター

## 2 発掘調査受託事業

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査及び整理・報告作業を実施する。

(1) 本発掘調査 28,547 m<sup>2</sup> 【資料1】

国交省直轄国道関係 : 8 遺跡

(2) 整理・報告作業【資料2】

整理編集・報告書刊行 : 3 遺跡

## 3 保存処理【資料3】

ア 木器保存処理

大型木製品240点と令和元年度報告書刊行遺跡分の保存処理を行う。

イ 金属器保存処理

鉄製品106点、青銅製品212点の保存処理を行う。

ウ 木器・金属器とも、保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う。

## 4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、他機関の報告書や専門図書を考古学・歴史学などの学習・研究資料として、研究者・県民が活用できる場を提供する。

ア 保管

- ・ 出土品・記録資料の保管
- ・ 図書類の保管、奈良文化財研究所が運営する報告書のインターネット公開

イ 記録類の整理

- ・ 写真記録の体系的な整理
- ・ 図面のマイクロフィルム化作業

ウ 資料の活用・貸出し・閲覧

- ・ 出土品、写真等の貸出し、資料調査対応
- ・ 埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行う。

エ 再整理

復元からの経年により劣化が著しい土器の修復、収納材の点検交換、管理台帳の整備を行う。

## 5 普及啓発事業

現地説明会、遺跡発掘調査報告会等の開催や、学校等が行う体験学習支援などの普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や広報紙等の刊行により、調査結果を県民に還元する。

(1) 普及啓発

ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、企画展等を開催する。

イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内

来館者の希望に応じて、埋蔵文化財センターの展示品等の説明案内を行う。

ウ 現地説明会の開催

発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を報告する。

エ 事業団主催事業

【企画展】

春季企画展『縄文の巨木柱とマツリー糸魚川市 寺地遺跡ー』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：令和2年4月10日(金)～8月23日(日)
- ・内 容：令和元年度に糸魚川市が開催した企画展「国史跡・寺地遺跡展」の展示資料・パネルデータを借用し展示する。

秋季企画展『越後争乱ノコトー発掘された白河荘ー』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：令和2年9月4日(金)～12月13日(日)
- ・内 容：阿賀野バイパス関連調査成果に基づき、中世白河荘の歴史について解説。また、音声解説用ページを作成しテレビモニターでの視聴に対応する。

冬季企画展『発掘！新潟の遺跡2020』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：令和2年12月25日(金)～3月28日(日)
- ・内 容：令和元・2年度の発掘調査・整理資料を展示する。

【講演会】

新潟県埋蔵文化財センター講演会

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・内 容：新潟県内の調査例や出土遺物関連の講演  
(令和2年6月から令和3年2月の間で全9回実施予定)

【第24回 遺跡発掘調査報告会】

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・日 時：令和3年3月7日(日)
- ・内 容：令和元・2年度発掘調査成果の報告

【まいぶん春祭り】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：6月7日(日)
- ・内 容：勾玉作り、火起こし、クルミ割り、クイズでガチャ等

【まいぶん秋祭り】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：10月4日(日)
- ・内 容：勾玉作り、クルミ割り、クイズでガチャ等

【少年少女考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：6月28日(日)を初回とし、全4回
- ・内 容：土器作り、石器使用、編み物作り、まとめ発表会

#### 【センター見学会】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：令和2年11月18日（水）
- ・内 容：バックヤードツアー、出土遺物の観察など、大人の見学会

#### 【遺跡発掘地での展示会】

- ・場 所：各現場事務所
- ・日 時：発掘調査現地説明会開催日
- ・内 容：発掘現場の現状(成果)報告に併せて県教委が周辺で調査した遺跡の写真や遺物を展示する。

#### 【体験学習・出前授業】

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援や、希望する学校に指導者を派遣し出前授業を行う。

#### 【職場体験・インターンシップ等の受け入れ】

中学生や高校生に埋蔵文化財に関連する職種や内容を解説、体験してもらい、将来の進学や就業選択の一助となるよう支援する。

#### オ その他施設等との協力事業

「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑花センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品を贈呈する。

- ・期 間：令和2年4月～6月

### (2) 広報紙・調査研究誌等の刊行

#### ア 『埋文にいがた』111～114号

刊 行：年4回（6・9・12・3月） 2,200部（各号）

配布先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、他関係機関

#### イ 『年 報』

刊 行：年1回 30部・電子版をホームページで公開

配布先：市町村教育委員会、発掘調査事業者、財団役員等

#### ウ 『研究紀要』

刊 行： 300部（令和元年度原稿作成、令和2年度刊行予定）

配布先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、他関係機関

#### エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子や、周辺施設等の利用もあわせた埋蔵文化財センターの活用資料等を積極的に情報提供する。

## 6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施する。

また、要請に応じて市町村発掘調査技術指導等を行う。

**(1) 市町村発掘調査技術指導**

要請に応じて随時実施する。

**(2) 職員研修**

- ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修
- イ 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修
- ウ (独)奈良文化財研究所主催研修
- エ 県教委主催専門職員研修
- オ 文化庁埋文担当職員等講習会

**(3) 安全衛生研修等**

- ア 安全衛生講習 (6月)
- イ 火災訓練 (9月)

**7 埋蔵文化財センターの管理運営**

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとでの利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は、平成35年度までの5年間。

**8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会**

- (1) 総会：石川県 (6月予定)
- (2) 役員会：大阪府 (5月予定)、東京都 (12月予定)
- (3) 研修：愛媛県 (11月予定)
- (4) 中部・北陸ブロック連絡会議：愛知県 (10月予定)